



2018年度 第2四半期決算

決算説明会資料

株式会社C&Fロジホールディングス

開催日時:2018年11月15日(木) 15:30~16:30

会 場:兜町平和ビル3階 日本証券アナリスト協会会議室

1. 決算概要	・・・P2
2. 営業収益の分析	・・・P5
3. セグメント別営業収益および利益の概要	・・・P6
4. 業態別営業収益の概要	・・・P7
5. 営業原価の分析	・・・P8
6. 連結貸借対照表の概要	・・・P9
7. 設備投資実績および減価償却費(実績)	・・・P11
8. 人員と車両台数の比較(前期末比較)	・・・P12
9. 2018年度 通期業績見通し	・・・P13
10. 第一次中期経営計画の進捗	・・・P14
11. トピックス	・・・P15

※決算説明にあたっての留意点

本文中、C&Fロジホールディングスを「CF」、当社グループの主要事業会社である
ヒューテックノオリンを「HN」、名糖運輸を「MU」と表記しております。

決算概要(ハイライト)

(単位:百万円/Millions of yen)

	前第2四半期 FY2017 2Q		当第2四半期 FY2018 2Q				業績予想(注1) FY2018 2Q Forecast		
	金額 Amount	構成比 Structural ratio	金額 Amount	構成比 Structural ratio	増減額 Increase/ Decrease	増減率 Increase/ Decrease rate	金額 Amount	構成比 Structural ratio	増減額 Increase/ Decrease
営業収益 Operating revenue	52,919	100.0%	54,645	100.0%	1,726	3.3%	54,700	100.0%	△ 54
営業原価 Cost of sales	48,147	91.0%	50,064	91.6%	1,916	4.0%	-	-	-
販売費及び一般管理費 Selling, general and administrative expenses	2,256	4.3%	2,048	3.7%	△ 208	△ 9.2%	-	-	-
営業利益 Operating income	2,514	4.8%	2,532	4.6%	17	0.7%	2,600	4.8%	△ 67
経常利益 Ordinary income	2,561	4.8%	2,677	4.9%	116	4.5%	2,800	5.1%	△ 122
親会社株主に帰属する四半期純利益 Net income attributable to owners of the parent	1,663	3.1%	1,809	3.3%	145	8.8%	1,600	2.9%	209

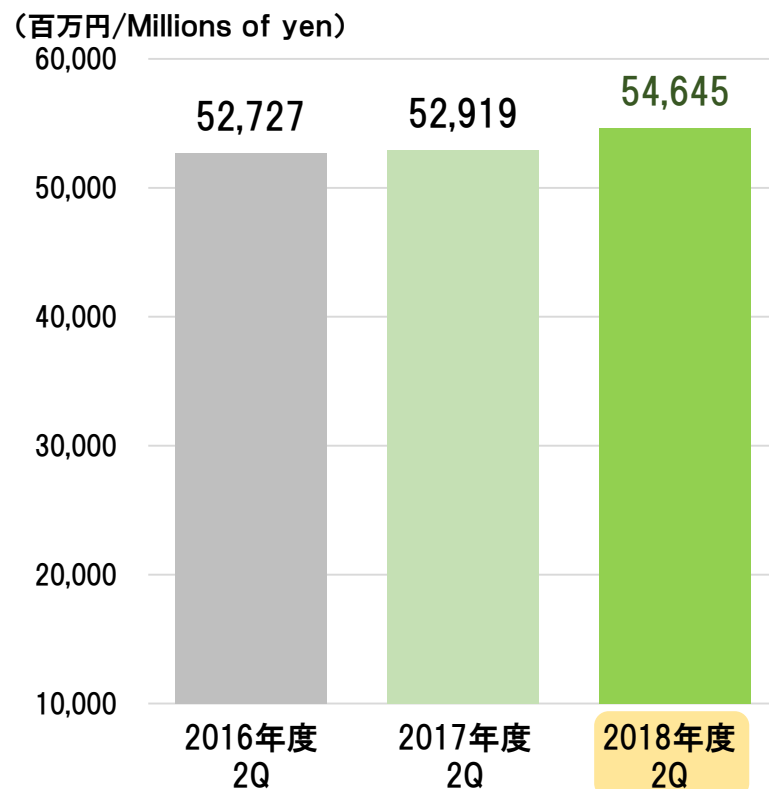
(注1)2018年5月8日付で公表した2018年度第2四半期の業績予想値になります。

●『販売費及び一般管理費』につきましては、部門単位の利益管理をより精緻化するため、一部の事業会社で全社費用として認識しておりました一般管理費を、当期より営業原価に含めております。

決算概要(推移)

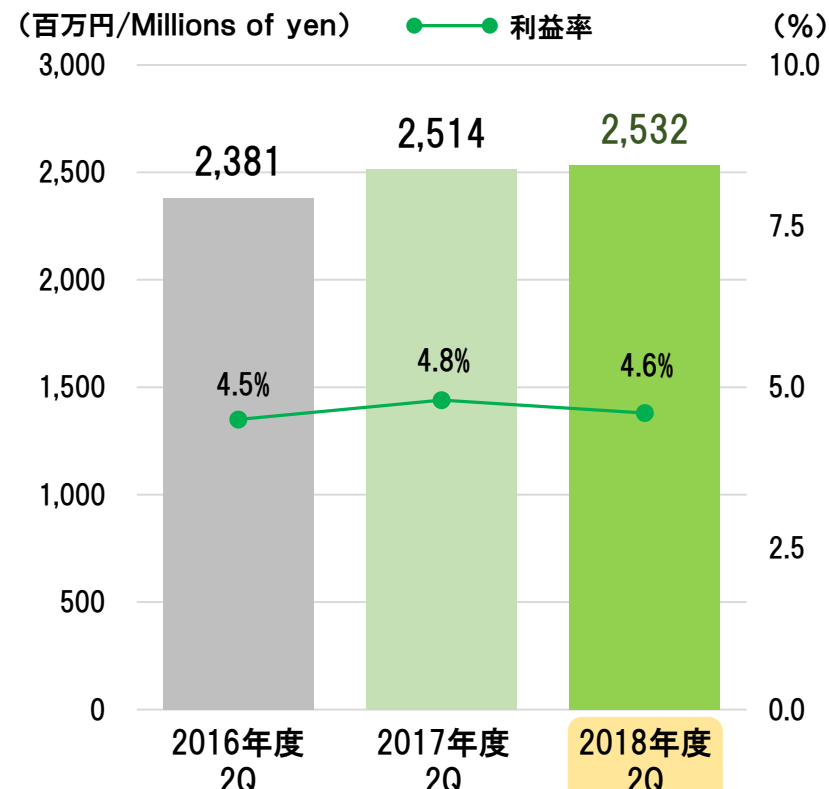
営業収益

- ・取扱物量の増加、適正料金の収受により増収。



営業利益

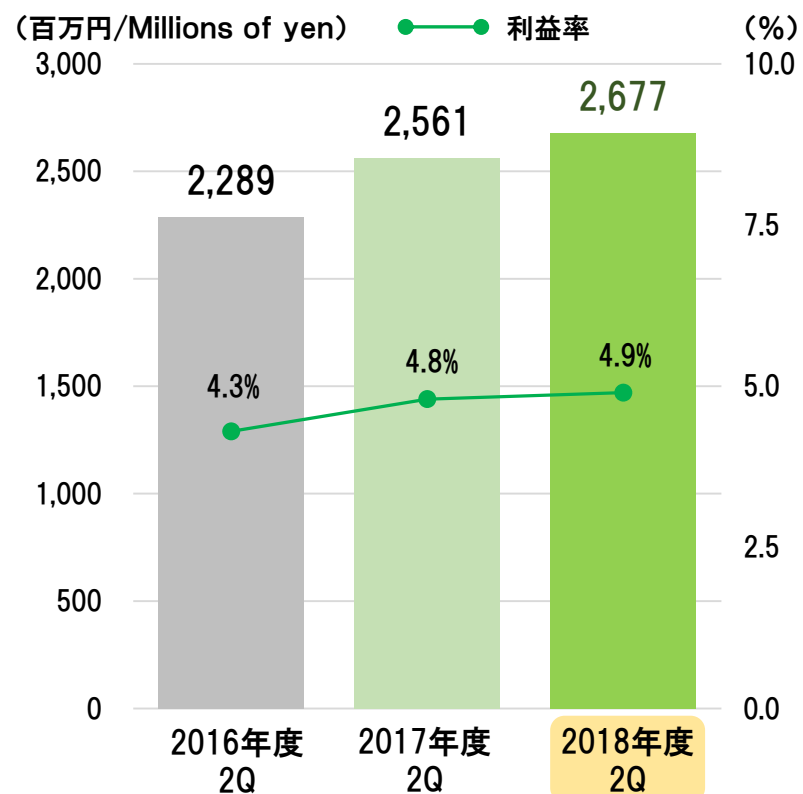
- ・増員ならびに一般職向け新人事制度の適用などによる労務費の増加、ならびに燃油単価上昇による燃料費・動力費の増加があったものの、グループ内インフラの相互活用による外注費の抑制ならびに業容拡大による営業収益増加に伴い増益。



決算概要(推移)

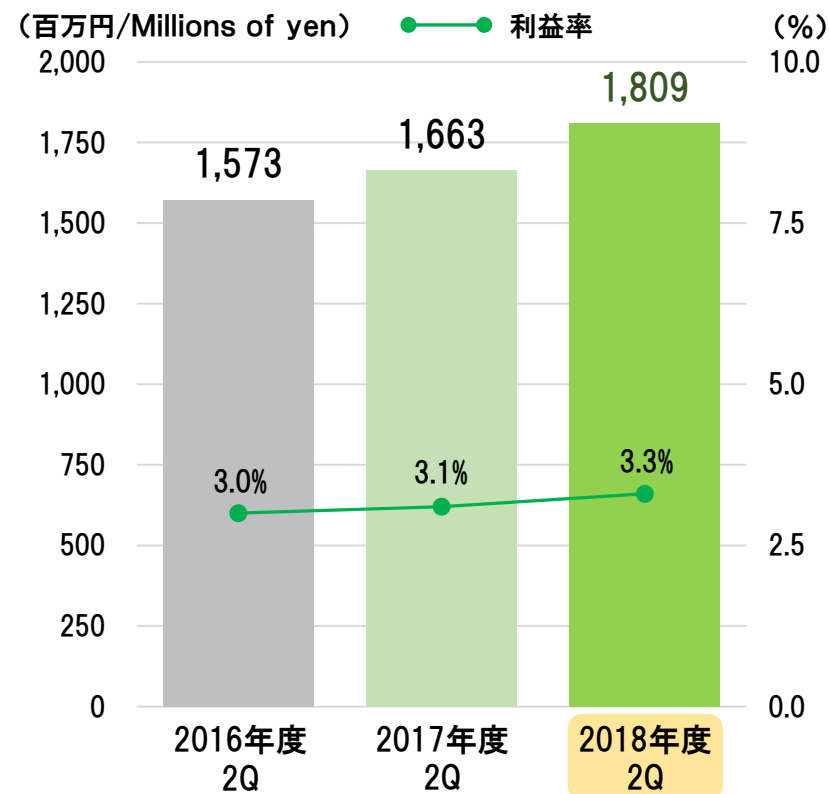
経常利益

- ・営業利益の増益に加え、補助金収入が94百万円増加し、増益。



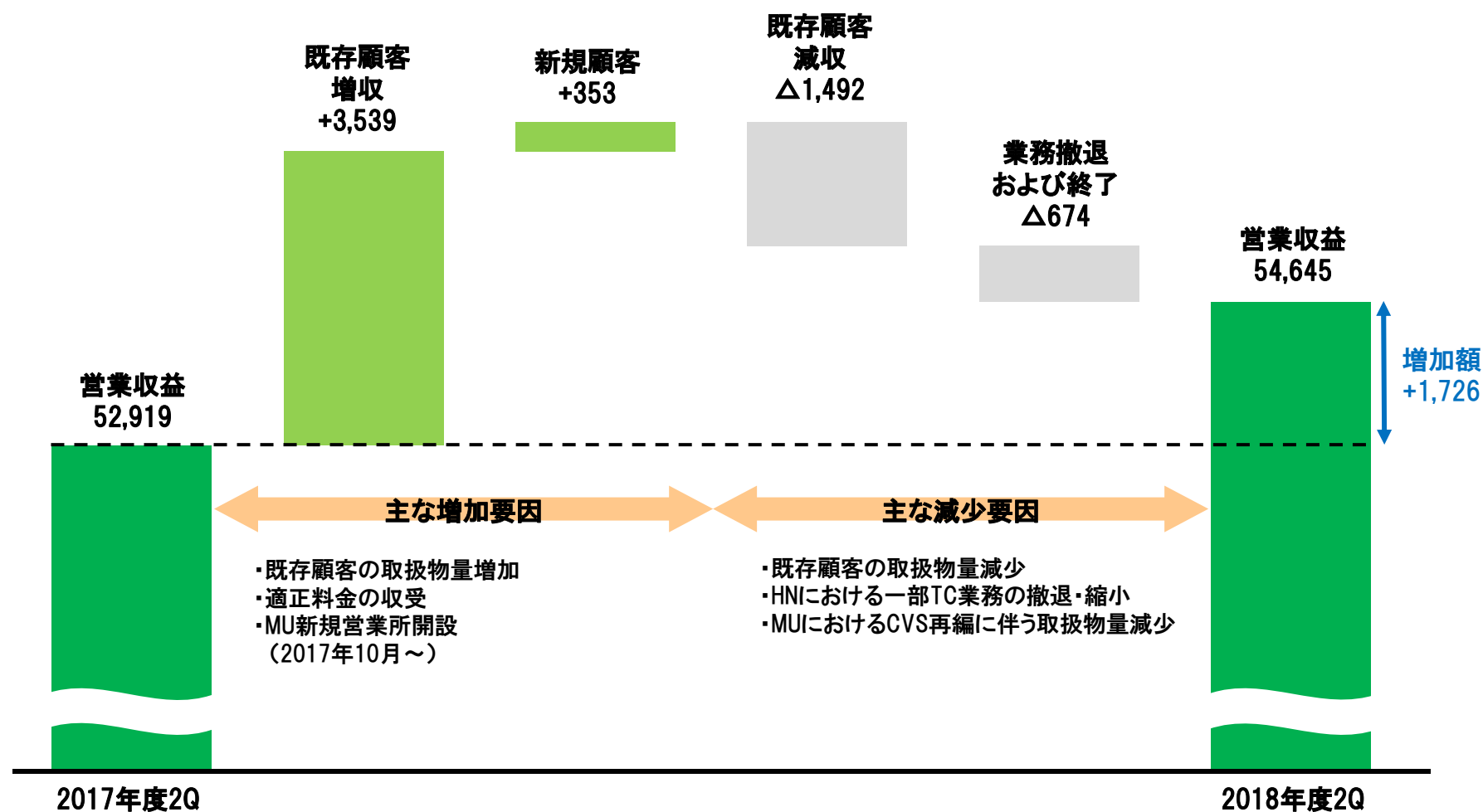
親会社株主に帰属する四半期純利益

- ・前期は減損損失63百万円が発生したが、当期は発生なしのため、前期対比で増益。



営業収益の分析

(単位:百万円/Millions of yen)



セグメント別営業収益および利益の概要

(単位:百万円/Millions of yen)

		前第2四半期 FY2017 2Q		当第2四半期 FY2018 2Q				主な要因 Main factors
		金額 Amount	構成比 Structural ratio	金額 Amount	構成比 Structural ratio	増減額 Increase/ Decrease	増減率 Increase/ Decrease rate	
DC事業 (注1) (保管在庫型物流事業) Distribution Center	営業収益	16,088	30.4%	16,790	30.7%	702	4.4%	・HN:冷凍食品の取扱物量増加
	セグメント利益 (利益率)	1,748 10.9%	38.7%	1,831 10.9%	39.0%	82	4.7%	・グループ内の施設・車両相互活用による外注費の抑制
TC事業 (通過型センター事業) Transfer Center	営業収益	35,966	68.0%	36,896	67.5%	930	2.6%	・MU:新規営業所開設(2017年10月～稼働開始) 量販店・CVS向けのチルド商品の取扱物量増加 ・HN:一部業務の撤退(2017年6月)
	セグメント利益 (利益率)	2,637 7.3%	58.3%	2,714 7.4%	57.9%	77	2.9%	・グループ内の施設・車両相互活用による外注費の抑制
その他 (注2) Others	営業収益	864	1.6%	958	1.8%	93	10.9%	・MU:人材派遣業務の業容拡大 ・HN:病院関連物流業務の取扱物量増加
	セグメント利益 (利益率)	136 15.8%	3.0%	145 15.2%	3.1%	8	6.5%	

(注1)『DC事業』にはベトナム事業が含まれております。

(注2)『その他』には警備輸送業、病院関連物流業、人材派遣業、および保険代理店業等が含まれております。

- 『セグメント利益』につきましては、部門単位の利益管理をより精緻化するため、一部の事業会社で全社費用として認識しておりました一般管理費を、各報告セグメントに配分する方法に変更しており、前第2四半期連結累計期間の各セグメント利益は当期の区分に基づき作成した数値となっております。

業態別営業収益の概要

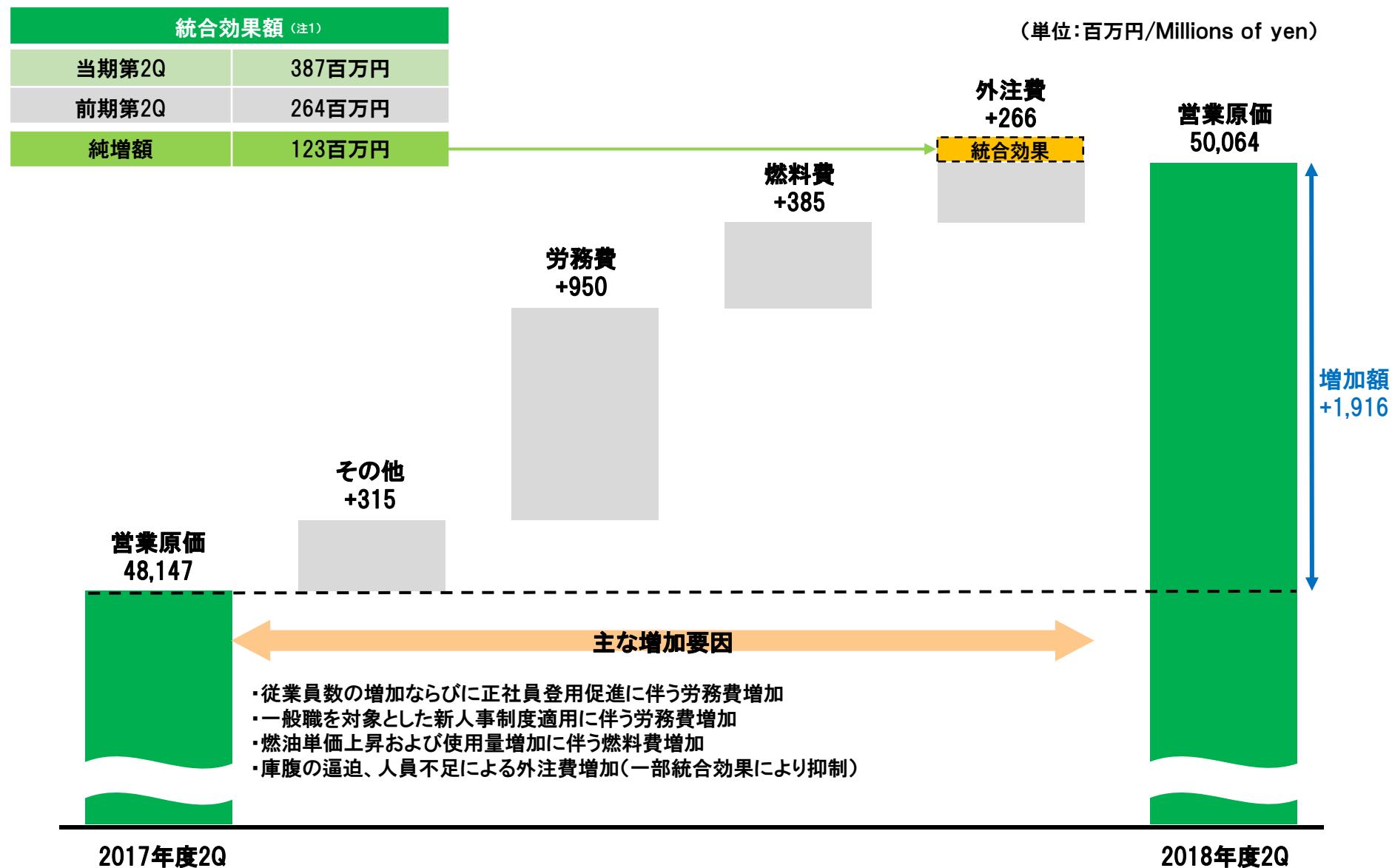
(単位:百万円/Millions of yen)

	前第2四半期 FY2017 2Q		当第2四半期 FY2018 2Q				主な要因 Main factors
	金 額 Amount	構成比 Structural ratio	金 額 Amount	構成比 Structural ratio	増減額 Increase/ Decrease	増減率 Increase/ Decrease rate	
共同配送 (注1)	30,429	57.5%	31,241	57.2%	811	2.7%	・ 冷凍食品の取扱物量増加 ・ 量販店・CVS向けのチルド商品の取扱物量増加
コンビニエンスストア物流	7,515	14.2%	8,184	15.0%	668	8.9%	・ MU新規営業所の開設 (2017年10月～)
チェーンストア物流	7,154	13.5%	7,073	12.9%	△ 81	△1.1%	・ HN一部業務の撤退・縮小
問屋物流	4,463	8.4%	4,648	8.5%	184	4.1%	・ 給食関連食材の取扱物量増加
保税・加工 (注2)	1,365	2.6%	1,376	2.5%	10	0.8%	・ 保税貨物の取扱物量増加
その他	1,989	3.8%	2,122	3.9%	132	6.7%	・ 化粧品・雑貨の取扱物量増加
【合計】	52,919	100.0%	54,645	100.0%	1,726	3.3%	

(注1)『共同配送』はHNにおけるフローゼン(DC事業)およびMUにおけるチルド(TC事業)を合算した数値になります。

(注2)『保税・加工』はHNにおけるDC事業での外貨取扱および野菜等のパッケージ詰め加工(ミックスベジタブル等)による営業収益を合算した数値になります。

営業原価の分析



(注1)グループ会社間のインフラ(倉庫・車両)を相互活用することで、外注費の抑制に影響した金額になります。

連結貸借対照表の概要

(単位:百万円/Millions of yen)

	前期末 (March 31, 2018)	当第2四半期末 (September 30, 2018)	増減 Increase/Decrease
【流動資産】	18,078	19,198	1,120
現金及び預金	4,887	5,148	261
営業未収金	11,659	12,492	833
その他流動資産	1,531	1,557	25
【固定資産】	60,413	60,401	△ 12
有形固定資産	50,550	50,212	△ 337
無形固定資産	742	759	17
投資その他資産	9,120	9,428	308
【資産の部】	78,491	79,599	1,108

■主な増減項目

【流動資産】

- ・営業未収金: 季節による収益差を含む
営業収益増加に伴う増加

【固定資産】

- ・投資その他資産:
投資有価証券の評価替(+294百万円)

連結貸借対照表の概要

(単位:百万円/Millions of yen)

	前期末 (March 31, 2018)	当第2四半期末 (September 30, 2018)	増減 Increase/Decrease
【流動負債】	19,399	19,968	568
営業未払金	4,218	4,356	138
短期借入金 (1年以内返済予定長期借入金含む)	5,509	6,083	574
リース債務	1,779	1,850	70
その他流動負債	7,892	7,678	△ 214
【固定負債】	23,095	22,113	△ 981
長期借入金	6,039	5,193	△ 846
リース債務	8,134	8,010	△ 124
その他固定負債	8,920	8,909	△ 11
【負債の部】	42,494	42,082	△ 412
【株主資本】	34,837	36,291	1,453
資本金	4,000	4,000	0
その他株主資本	30,837	32,291	1,453
その他包括利益累計額	341	518	177
非支配株主持分	817	707	△ 110
【純資産の部】	35,996	37,517	1,521
【負債・純資産合計】	78,491	79,599	1,108

■主な増減項目

【流動負債】

- ・短期借入金(1年以内返済予定長期借入金):
長期借入金からの振替
(+566百万円)

【固定負債】

- ・長期借入金:
短期借入金への振替(△566百万円)

【純資産の部】

- ・その他包括利益累計額
その他有価証券評価差額金(+166百万円)

設備投資実績および減価償却費(実績)

(1)設備投資実績

(単位:百万円/Millions of yen)

	前第2四半期 FY2017 2Q	当第2四半期 FY2018 2Q	備考 Notes
有形固定資産	1,246	1,268	・車両の代替・増車(107台・837百万円) ・メイトウベトナム第二倉庫建設(96百万円)
リース資産	217	884	・リース車両の代替・増車(65台・770百万円)
無形固定資産	60	87	
合計	1,524	2,239	

(2)減価償却費

(単位:百万円/Millions of yen)

	前第2四半期 FY2017 2Q	当第2四半期 FY2018 2Q	増減 Increase/Decrease
有形固定資産	1,454	1,499	45
リース資産	884	866	△ 19
無形固定資産	43	48	5
合計	2,382	2,413	31

人員と車両台数の比較(前期末比較)

(1)人員の比較

(単位:人)

	前期末 (March 31, 2018)	当第2四半期末 (September 30, 2018)	増減 Increase/Decrease	主な要因 Main Factors
社員 (内、ドライバー)	4,591 (2,135)	4,805 (2,211)	214 (76)	・新卒者定期採用(107名) ・正社員登用による増加
契約社員・臨時要員 (内、ドライバー)	6,835 (1,772)	6,842 (1,744)	7 (△ 28)	・ドライバーの正社員登用による減少
合計 (内、ドライバー)	11,426 (3,907)	11,647 (3,955)	221 (48)	

(2)車両台数の比較

(単位:台)

	前期末 (March 31, 2018)	当第2四半期末 (September 30, 2018)	増減 Increase/Decrease
大型車	611	632	21
中型車	1,492	1,504	12
小型車	444	456	12
現金輸送車	122	125	3
合計	2,669	2,717	48

2018年度 通期業績見通し

(単位:百万円/Millions of yen)

	2017年度 通期実績 FY2017		2018年度 通期業績見通し (注1) FY2018 Forecast				第一次中期経営計画 3年目計画値 (注2) FY2018 Plan at May 10, 2016		
	金額 Amount	構成比 Structural ratio	金額 Amount	構成比 Structural ratio	増減額 Increase/ Decrease	増減率 Increase/ Decrease rate	金額 Amount	構成比 Structural ratio	増減額 Increase/ Decrease
営業収益 Operating revenue	104,167	100.0%	107,300	100.0%	3,132	3.0%	106,000	100.0%	1,300
営業利益 Operating income	3,845	3.7%	3,900	3.6%	54	1.4%	-	-	-
経常利益 Ordinary income	3,981	3.8%	4,200	3.9%	218	5.5%	4,000	3.7%	200
親会社株主に帰属する当期純利益 Net income attributable to owners of the parent	2,604	2.5%	2,500	2.3%	△ 104	△4.0%	-	-	-

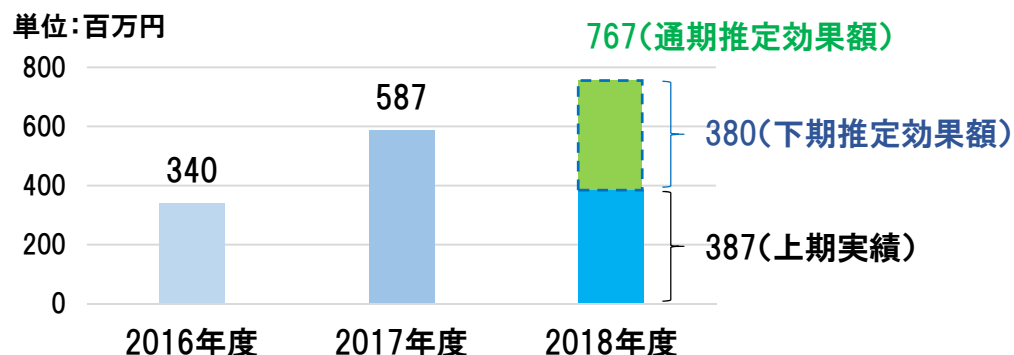
(注1)2018年5月8日付で公表した2018年度の通期業績予想値になります。

(注2)2016年5月10日付で公表した第一次中期経営計画の3年目(2018年度)計画数値になります。

第一次中期経営計画の進捗

グループ内の倉庫・車両相互活用

◎グループ内の倉庫・車両相互活用実績の推移



・取り組み開始より着実に効果を発揮
⇒今後も更なる効果の発現を追求

各種組織・制度・仕組みの統合

- 2017年4月～
 - ・管理職向け新人事制度適用開始
- 2018年4月～
 - ・一般職向け新人事制度適用開始
 - ・管理部門統合
 - ・経理システム統合

海外事業の展開

- 2016年9月
 - ・ベトナム社会主義共和国にて運送会社『T&M TRANSPORTATION COMPANY LIMITED』設立 (2018年9月末車両台数: 11台)
- 2017年10月
 - ・同国の倉庫会社『MEITO VIETNAM COMPANY LIMITED』、第二倉庫竣工 (2018年1月より稼働)

株式会社ヒューテクノオリンにおきまして、関西地区における今後の顧客開発に伴う取扱物量の増加への対応ならびに既存施設の賃貸借契約の満了に伴う新物流施設等の建設に向けて、物流施設用地を取得いたしました。

- (1)住 所 :大阪府箕面市上止々呂美、下止々呂美箕面森町第3区域 Ⅲ-7街区
- (2)面 積 :70,358.6 m²(21,283.5 坪)
- (3)取得金額 :3,444 百万円

■参考:関西エリアの当社グループ既存拠点との位置関係



◎主要エリア・スポットからのアクセス

新名神高速道路 箕面IC	…約3分
大阪市中心部	…約30分
神戸市中心部	…約1時間
名古屋市中心部	…約2時間

名糖運輸株式会社におきまして、業容拡大等による取扱物量の増加に伴う既存の基幹物流センターの狭隘化に対応するため、大型の代替物流センターの建設用地として、以下の土地について事業用定期借地権設定契約を締結いたしました。

- (1)借地住所 : 埼玉県所沢市中富字月野原
- (2)面 積 : 14,631.72 m²(4,426 坪)
- (3)契約期間 : 2018年7月1日～2058年6月30日(40年)
- (4)その他 : 2018年7月26日付で物流総合効率化法の認可を得て、翌27日付で所沢市より開発許可を受けております。

■参考: 近隣物流拠点との位置関係



◎主要エリア・スポットからのアクセス

関越自動車道 所沢IC	…約15分
MU埼玉物流センター	…約12分
MU所沢物流センター	…約15分

名糖運輸株式会社グループにおきまして、新潟地区の既存共同配送物流拠点の賃貸借契約が2020年に満了することから、同地区におけるコンビニエンスストア物流の将来的な業容拡大への対応も視野に入れ、新規物流施設を建設すべく、以下の事業用地取得に関する土地売買契約書を締結いたしました。

- (1)住 所 :新潟県新潟市西蒲区漆山(漆山企業団地)
- (2)面 積 :12,101 m²(3,660.5坪)
- (3)取得金額 :257百万円

■参考：近隣物流拠点との位置関係



◎主要エリア・スポットからのアクセス

- 新潟市 市街地(新潟駅周辺) ...約30分
- 北陸自動車道 巻潟東IC ...約1分
- Transmait Niigata Branch ...約20分
- Transmait Niigata East Branch ...約35分

名糖運輸株式会社におきまして、中国・四国地区の共同配送事業の業容拡大に対応するため、新規物流施設の建設に向けた以下の事業用地の取得について、当社取締役会で決議いたしました。

- (1)住 所 :岡山県岡山市南区箕島
- (2)面 積 :11,031 m²(3,336.87坪)
- (3)取得金額 :467百万円

■参考:近隣物流拠点との位置関係



◎主要エリア・スポットからのアクセス

- 山陽自動車道 早島IC …約10分
- 瀬戸中央自動車道 水島IC …約20分
- MU岡山営業所 …約10分

名糖運輸株式会社の連結子会社であるマコトขนส่งサービス株式会社におきまして、業容拡大に伴う既存物流センターの狭隘化に対応するため、以下の建物について定期建物賃借契約を締結いたしました。
(他社物流施設内でのテナント運営になります。)
既に造成段階に入っており、2019年3月に引渡しおよび稼働予定となっております。

- (1)借地住所(建物名) : 埼玉県越谷市西方 LOGIFRONT越谷 I (1階)
(2)面 積 : 12,346 m²(3,734.9坪) ※倉庫部分+事務所部分
(3)契約期間 : 2019年3月1日～2034年2月28日(15年)

■参考: 近隣物流拠点との位置関係



◎主要エリア・スポットからのアクセス

マコトขนส่งサービス越谷営業所 …約3分
HN関東支店 …約5分

低温物流の新たな価値を創造します。



- ※ 本資料は、2018年度の当社の連結決算公表時(11月7日)の数値をベースに、作成日現在(11月15日)において、入手可能な情報に基づき作成したものです。
今後の業績等につきましては、様々な要因によって変動する可能性がありますので、お含みおきください。
- ※ 本資料は当社グループの決算概要をご理解いただくことを目的として作成したものであり、株式会社C&Fロジホールディングスの株式等の売買の勧誘を目的とするものではありません。

本資料に関するお問い合わせ先
株式会社C&Fロジホールディングス
TEL:03-5291-8100 FAX:03-5291-6150
広報IR部／岡 俊貴